

Ⅱ 学校経営

1 教育目標 「自主積極・和親協力」

2 年度の重点目標

さわやかな生徒

- 基本的な生活習慣を身に付け、円滑な人間関係の中で、他と共に高まろうとする生徒

わかるまで学ぶ生徒

- 「基礎的・基本的な学習内容の定着」に向けて主体的・意欲的態度で粘り強くわかるまで学ぶとともに、習得した知識・技能を様々な学習や生活の場面で活用できる生徒

たくましく鍛える生徒

- 困難を乗り越え、自分の目標に向かってやり遂げようとする強い心と体を鍛えるとともに、よりよい生き方を探りながら自己をたくましく鍛える生徒

3 重点教育課題

- (1) 生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、学びを学習や生活に生かす態度・能力の育成を図る。
- (2) よりよい人間関係づくりと自治意識の高揚を目指し、学級活動や生徒会活動を活発にする。
- (3) 心身の健康を目指し、食育・健康教育の充実を図る。

4 学校経営の方針

[基本的な構え]

※ 生徒は、学校での生活や教育活動に意欲的に取り組み、成就感・達成感・満足感・安心感を得たときに、生き生きと輝いた姿を見せる。その姿は、保護者にとっては我が子の成長を、教職員にとっては自らの指導の成果として返ってくる。三者が共に成長を喜び合える学校づくりを目指す。

5 具体的な取組

- (1) **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導を展開する。**
 - 生徒の学ぶ意欲を喚起する学習教材と課題を用いながら、生徒が主体的に学習活動に取り組み、自己の学習の成果を振り返って次時につなげるような学習過程を工夫する。
 - 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話等を通じ、自己の考えを広げ深める対話的な学びの実現を図る。
 - 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする深い学びの実現を図る。
- (2) **道徳教育を充実させ、豊かな心と学びの環境づくりに努める。**
 - 特別な教科道徳を充実させ、他を思いやる心の育成に努める。
 - JRC精神を基調とし、ボランティア活動に積極的に取り組み、助け合い、認め合う心や喜びを共有できる豊かな心の育成に努める。
 - 校地・校舎の整備に努めるとともに、花のある学校を目指す。
- (3) **基本的な生活習慣の確立と喜びを感得できる積極的な生徒指導を推進する。**
 - 全教育活動で、自分（たち）で考えやり遂げた喜び（自己決定）、人のために役立って認められた喜び（自己有用感）、互いに分かり合えた喜び（共感的人間関係）を感じるように支援する。
 - 学級・学年経営と生徒会活動の充実を図り、確かな居場所づくりと温もりのある人間関係づくりに努めるとともに、集団の高まりと自治的風土の醸成を図る。
 - 教育相談や生徒との触れ合いの場を大切に、一人一人の生徒理解に努める。
 - 生徒の発想や創意を大切に、成就感や所属感を感得できる指導法を工夫する。
 - 小学校との連携を図りながら、いじめ・不登校への対策に取り組む。
- (4) **特別支援教育を充実させ、インクルーシブ教育に努める。**
 - 特別支援教育の研修等を通じて指導力を高め、特別支援学級と通常学級の交流や通常学級に在籍する発達障害等の特性のある生徒に応じた教育を推進する。
- (5) **生徒と寄り添い、積極的に関わることを通じて共に人生を語り、夢を育てる。**
 - 社会的自立力の育成を目指し、教師自身の「生き方観、生活観」を語りながらキャリア教育を柱とした「生き方指導としての進路指導」を充実させる。（「キャリア教育プログラム」による）
 - 生き方についての主体的な自覚を深めるよう、道徳の時間を充実させる。
 - 人や物、集団や社会とのかかわりを豊かにもてる体験活動を充実させる。
- (6) **開かれた学校づくりに努める。**
 - 行事や広報活動を通して学校の様子を積極的に地域に公開する。
 - 学校運営協議会の意見を生かし、地域に開かれた学校づくりに努める。
- (7) **活発な校内研修を推進し、自らの資質や指導力の向上に努める。**
 - 積極的な公開授業や相互参観を行い、指導力の向上と授業改善に努める。
 - 学校評価システムに基づく計画的な評価を行い、課題解決に向けて的確に実践する。
- (8) **部活動を推奨する。**
 - 自由参加の部活動体制の中でも、体力・気力の向上と協調性を養う運動部や興味・関心と個性の伸長を図る文化部への積極的な参加を推奨する。